

## CIMdata 2015 PLM Market & Industry Forum

“Platforms for Innovation: PLM’s Next Evolutionary Step”

### イノベーションのためのプラットフォーム：PLMの次なる進化のステップ

従来の一一般の通念によれば、会社はイノベーションで繁栄します。共通なプラクティスは、使命 (mission) に対するビジョンから戦略へと落とし込むために戦略的な計画プロセスを使用することです。アプローチは業界により異なります。焦点は、新製品、サービス、またはプロセスであるかも知れませんが、あるいは、考えるそれぞれの代替手段に対して目論んだリターンを持った戦略的なイニシアチブの組合せ。企業は、社の業務の全ての範囲にわたってイノベーションする必要があります。いくつかのケースでは、新たなビジネスモデルは、新しいイノベーションに対しての市場を最適に攻略・獲得する必要がおそらくあります。

それらビジネス領域全体に及びイノベーションは、会社の目標を達成したり、または超えるために必須である売上や利益 (the top- and bottom-line) をコラボレーティブにもたらす必要があります。必要となるイノベーションは明確にして定義されると、以下の Project Management Institute からの図に示すように、“manage on-going operations (進行中の事業・業務をマネジメントする)” と “manage authorized programs and projects (認証・権限を受けたプログラムやプロジェクトをマネジメントする)” を手助けするために多くの事業戦略 (enterprise strategies) やシステムがあります。



このピラミッド全体にわたり、組織は、自身の確固たる取組・努力を支援するために必要なデータ、プロセス、また機能的な能力を明確にして定義します。このデータ - プロセス - 機能・能力の組み合わせは、CIMdataのプラットフォームの定義の中核となります。プラットフォームは、ITで可能なもの (IT enabled) であるかも知れませんが、またはそうでないかもしれません。ビジョンと使命 (mission) を明確にして定義するために使用されるプロセスは、多くの場合、ポストイットや Microsoft Office ツールでサポートされて、グループ・コラボレーションに媒介されます。ある種のツールは IT 集約的 (IT intensive) なものです。例えば、上記の図の左側に、企業は、生産のためのリソースを最適に割り当てるために ERP (企業資源計画、エンタープライズ・リソース・プランニング) を使用しています。CRM (顧客関係管理) ソリューションはまさにそのようであり、つまり製品とサービスの販売とプロビジョニングをマネジメントするために、企業に社の顧客との関わりを助けるものです。製品ライフサイクル (PLM) は、製品とプロセスの開発・展開を支援するために、ソフトウェア、テクノロジー、及びサービスによって可能にした戦略的ビジネスアプローチとして現れました。CIMdataのPLMの定義は、製品アイデアからライフサイクルの終焉 (end-of-life) に渡るもので、よって PLM は、プロセスに関連する製品、プロセス、またサービスとイノベーションに於いて果たすべき多大な役割を持っています。

過去数年を経て、アイディエーションのプロセスがソーシャル・テクノロジーによって見事に可能になっています。このケースの一つに、新しいアイデアを活かすことに興味を持っているコミュニティを活用するプラット

フォームとして Kickstarter (キックスターター) を考えるみることです。多くの産業企業多くの産業企業は、これを実現するために選択された個人またはコミュニティの独自のプラットフォームを創り、それら人々やコミュニティでのオープンイノベーションに依存しています。実際、いくつかの PLM システムインテグレータは、自社の大きな効果のためにこのアプローチを使用しています。一流企業 (Leading companies) は、それらアイディエーション/アイデアマネージメントのプラットフォームを ERP や PLM のような社の異なったエンタープライズのプラットフォームと如何にベストに接続するかの解決に取り組んでいます。

シミュレーション&解析 (S&A) セグメントの非常に大きな成長の理由の一つは、製品ライフサイクルの初期のコンセプト段階の裏側で S&A の使用が増加していることです。企業がスケッチやクレイモデルを作るために使っていた部分は、今では 0-1-2-3D モデルのシステムで作成しています。このアプローチをサポートするための既存のプラットフォームは適切でしょうか？または新しいものを必要としているのでしょうか？新しいアプローチで成功するためにシステムインテグレータやリセター/VAR は顧客の能力・力量を高める (empower) ために各社はどのような新しいスキル、ソリューション、またサービスを開発・展開する必要があるのでしょうか？

現行の PLM が可能にするプラットフォーム (PLM-enabling platforms) は進化・発展しています。何社かの主要な PLM ソリューションプロバイダは、たった一つ一枚岩の製品提供 (one monolithic offering) から中核ソリューション及びユビキタススマートフォンのような関連したアプリ (Apps) へと進展しています。これは IT コンシューマライゼーションが PLM に打撃を与えているのでしょうか？それは、ユーザーにとって、ソリューションプロバイダにとって、どのような意味をもつのでしょうか？特に、CIMdata がリサーチに取り組んでいる PLM の持続可能性 (PLM sustainability) に非常に大きな影響を持つものです。3D プリントやモノのインターネット (the Internet of Things) のような他の進展中のテクノロジーは、多くの産業セグメントで新たなイノベーションの機会を創生しています。今年のフォーラムで、CIMdata のチームは、これらの問題・課題と PLM エコノミーへの影響を探求して行きます。

リーディング・イベントである CIMdata の 2015 年度の 2015 PLM Market & Industry Forum は、PLM エコノミーのソリューションプロバイダとサービスプロバイダ向けに特にデザインされたものであり、弊社の PLM コミュニティメンバーのために価値ある重要な成果物を提供するものです。本年度のフォーラムは、現行の経済情勢や動向への識見、また上記の課題に照らし合わせ、PLM エコノミーでのそれらへの影響などについてお届けします。これらは、現行の PLM 市場の状況と将来のトレンドに於ける CIMdata の展望を詳しくプレゼンテーションし、CIMdata の 2014 年の市場分析の最初の一般公開 (PLM 領域、産業・業種、そして地域など全体の市場の成長、また大手ソリューション・プロバイダの業績である収益と市場占有率の分析についての詳細な分析と予測を含む) となります。CIMdata は、PLM コミュニティに見合うソリューションプロバイダの要件について身につけるための機会としてそれらのセッションを見ています。

CIMdata の PLM Market & Industry Forum イベントの参加者は、現行と新たに展開・発展する PLM 市場、そのダイナミックな影響、継続的な市場の進展について確かなる理解を深めることを期待するものです。出席者は、自身が活用できるチャンス、また来る年への PLM 市場環境をナビゲートするために利用できるアプローチなどへの先見性の識見を高めることとなります。CIMdata の PLM Market & Industry Forum はまた、競合相手・他社、協力者、また潜在的なパートナーを含み、PLM コミュニティに於ける専門家たちとのネットワークの機会も提供します。

登録は CIMdata HP <http://www.CIMdata.com> にて。またはメタリンク、<http://www.MetaLinc.com> まで。

## 開催日・場所

北米	2015 年 3 月 31 日 (火) Sheraton Hotel 3200 Boardwalk Drive Ann Arbor, MI 48108 USA	中国	2015 年 4 月 17 日 (金) Beijing, CHINA – Location TBD
欧州	2015 年 4 月 9 日 (木) NH Amsterdam Barbizon Palace Prins Hendrikkade, 59-72 1012AD Amsterdam, THE NETHERLANDS	日本	2015 年 4 月 22 日 (水) 東京さぬき倶楽部 東京都港区三田 1 丁目 11-9
インド	2015 年 4 月 13 日 (月) Marriott, Pune City Centre Pune, India		